

感染症情報

5月22日～28日(第21週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

| | 疾患名 | 流行の程度 | 流行の推移 | コメント |
|---|-----------------------|-------|-------|----------|
| ① | 麻疹 | ★ | | |
| ② | 風疹 | ★ | | |
| ③ | 水痘 (みずぼうそう) | ★★ | | 1例ありました |
| ④ | ムンプス (おたふくかぜ) | ★ | | |
| ⑤ | 百日咳 | ★ | | |
| ⑥ | 溶連菌感染症 | ★★★★ | ↑ | 増加傾向です |
| ⑦ | 肺炎 (マイコプラズマなど) | ★ | | |
| ⑧ | ロタウイルス性胃腸炎 | ★ | | |
| ⑨ | その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど) | ★★ | → | |
| ⑩ | 伝染性紅斑(リンゴ病) | ★ | | |
| ⑪ | 手足口病 | ★ | | |
| ⑫ | ヘルパンギーナ | ★★ | | 少ないです |
| ⑬ | 咽頭結膜熱(プール熱) | ★ | | |
| ⑭ | アデノウイルス感染症 | ★ | | |
| ⑮ | 上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群 | ★★ | | 発疹を伴います |
| ⑯ | RSウイルス感染症 | ★★★★ | ↑ | 増加傾向です |
| ⑰ | インフルエンザ | ★★ | ↓ | 減少傾向です |
| ⑱ | 新型コロナウイルス感染症 | ★★ | ↑ | やや増加傾向です |
| ⑲ | その他のかぜ症候群 | ★★ | | |

「溶連菌感染症」「RSウイルス感染症」が流行中です。「溶連菌感染症」は真夏には減少しますがもう少しばらばらが多いと思われます。「RSウイルス感染症」は従来は秋先から増えるのですが2年前からは春先から増加する傾向があり、今後も流行が続く可能性があります。
従来5月連休明け頃から増加する「手足口病」「ヘルパンギーナ」を含む「夏かぜ症候群」ですが今年は現在のところ過去3年と同様に増加傾向がみられません。
「インフルエンザA型」はかなり少なくなりましたが、もう少しばらばらに注意が必要です。
「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)オミクロン株」による第8波は終息に向かっていましたが最近少しづつ増加傾向です。5月8日より2類から5類への変更となりましたが引き続きWithコロナの対応をしていきましょう。

| | |
|-------|-------|
| ★ | なし |
| ★★ | たまにあり |
| ★★★ | 時々あり |
| ★★★★ | 流行中 |
| ★★★★★ | 大流行中 |

| | |
|----|------------|
| ↑ | 増加傾向にある |
| ↑↑ | 著しく増加傾向にある |
| → | 変化なし |
| ↓ | 減少傾向にある |
| ↓↓ | 著しく減少傾向にある |